明日をひらく都市
OPEN×PIONEER
YOKOHAMA

横 浜 市 記 者 発 表 資 料

令和８年 11 月 27 日
港 湾 局 政 策 調 整 部

横浜港は国際 NGO の Pacific Environment と 持続可能な海洋・港湾に関する覚書を締結しました！

横浜市と Pacific Environment（本拠地：サンフランシスコ）は、令和８年 11 月 25 日、両当事者間の協力関係のための枠組みを構築し、戦略的な連携の機会を特定することにより、日本、アジア及び世界におけるゼロエミッション海運及び港湾への移行を加速することを目的として、覚書を締結しました。

本覚書に基づき、両者は定期的な情報交換や専門的知見の共有に加え、研究機関と連携した共同研究の検討、セミナー及びワークショップの開催等を通じて、港湾及び海運分野の脱炭素化に向けた連携を推進します。

なお、覚書締結式は OXExpo の Pacific Environment 主催セミナー内で開催されました。

１　覚書締結式

（１）日 時 ：令和８年 11 月 25 日（水）15:40～16:00
（２）会 場 ：パシフィコ横浜展示ホールＣ シンポジウムステージ
OXExpo の Pacific Environment セミナー内
署名者：横浜市港湾局長 新保（しんぼ） 康裕（やすひろ）
Pacific Environment Head of Programs グレース・ヒーリー様



左から、横浜市港湾局長、グレース・ヒーリー様

２　覚書の目的

以下の分野において両当事者が協力し、日本、アジア及び世界におけるゼロエミッション海運及び港湾への移行を加速すること

〇協力を検討する６分野：船舶の脱炭素化、グリーンシッピング・コリドー、クリーンエネルギー、国際海事政策、海洋環境保護、能力向上・安全確保

裏面あり

GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN
2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

3　両者コメント

（1）Pacific Environment グレース・ヒーリー様のコメント（要約）



横浜市との協力関係を正式に結ぶことができ、大変光栄に思います。本 MOU は、国際港湾として先進的な取り組みを進める横浜市の経験と、Pacific Environment が有する国際的なネットワークや政策面および技術面における専門的知見を結びつける重要な枠組みとなるものです。今後、太平洋地域全体において、グリーンシッピング・コリドーの構築、ゼロエミッション船の普及拡大、海洋生態系の保全、そして港湾コミュニティの暮らしや福祉の向上に向けて、横浜市とともに取り組んでいけることを楽しみにしています。

（2）横浜市港湾局　新保局長のコメント（要約）



港湾の脱炭素化や持続可能な海運・港湾の構築を推進していく上で、国際的な協力と専門的知見の共有は不可欠です。Pacific Environment との今回の MOU 締結は、横浜港の脱炭素化の一層の推進と、国際港湾としての競争力の強化につながる重要な一歩となるものです。Pacific Environment が有する国際的な経験と専門性を活用し、横浜市のカーボンニュートラルポート（CNP）の取り組みをより前進させるための新たな機会や実践的な解決策を見いだしていきたいと考えています。

【参考】

パシフィック・エンバイロメント（Pacific Environment）

Pacific Environment は、国際海事機関（IMO）において諮問資格を有する環境 NGO として、カリフォルニアを拠点に国際海運の脱炭素化に向けた活動に取り組んでいます。近年はアジアの各港湾行政・当局との連携にも力を入れています。

https://www.pacificenvironment.org/

横浜港におけるカーボンニュートラルポートの取組

お問合せ先
政策調整課カーボンニュートラルポート担当課長　中村　Tel 045-671-7279

GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN
2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷